

安 全 デ 一 タ シ 一 ト (SDS)

作成 平成 18年 11月 6日
最終改訂 平成 28年 3月 24日

1.【化学物質等及び会社情報】

製品

製品の名称 30seconds ワンステップ・スプレー・クリーナー1L

供給者情報

製造者 30 Seconds Ltd (ニュージーランド)

輸入者 アルタン株式会社

住所 東京都大田区東糀谷3-11-10

マーケティング室 開発企画課

電話番号 03-3743-5705

FAX番号 03-3743-5706

緊急連絡先 同上

2.【危険有害性の要約】

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚刺激性

区分3

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、
上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

絵表示又はシンボル

該当無し

注意喚起語 警告

危険有害性情報

軽度の皮膚刺激

注意書き

使用前にラベルをよく読むこと。

【安全対策】

該当無し

【救急処置】

皮膚刺激が生じた場合 医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

該当無し

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国/地域情報

国内法で規定のある場合、並びに、地域で規定のある場合はその規定に従う。

3.【組成・成分情報】

単一製品・混合物の区別

混合物

成分及び含有量

化学名	含有量(wt%)	CAS No.	化審法番号	労働安全衛生法	PRTR法
アルキルジメチルベンジル アンモニウムクロライド (塩化ベンザルコニウム)	<3%	68424-85-1	(3)-2694	通知対象外物質	非該当
水	>80%	-	-	通知対象外物質	非該当

危険有害性に該当しない その他の成分	非公開	-	-	通知対象外物質	非該当
-----------------------	-----	---	---	---------	-----

4.【応急処置】

目に入った場合	清浄な水で15分以上洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 必要に応じて医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	水で洗い流すこと。必要に応じて医師の手当てを受けること。
吸入した場合	直ちに空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が困難な場合、医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	意識障害やその兆候のある場合は何も飲ませてはならない。必要に応じて医師の手当てを受けるか、中毒情報センターに連絡をすること。

5.【火災時の措置】

消火剤	粉末消火器、泡消火器、噴霧消化装置、棒状放水
特有の危険有害性	有毒の有機物の蒸気、アミン、CO _x 、塩化窒素、塩化水素
消化を行う者の保護	自給式呼吸器、安全ブーツ、耐火服、耐火手袋、耐火帽、耐火メガネ

6.【漏出時の措置】**少量の場合**

作業の際には皮膚、眼、呼吸器を保護する適切な保護具を着用すること。
乾燥砂、土などに含ませて回収する。

大量の場合

排水溝、下水溝、水流への流入を防ぐ(流入が起きてしまった場合、直ちに自治体に通報する)。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所へ導いてから、別容器に集める。

7.【取り扱い及び保管上の注意】

取扱い	適切な保護具を着用すること。
取扱い後	は手を洗うこと
保管	環境への流出を避けること。 幼児の手の届かない所に置くこと。

8.【暴露防止及び保護措置】

設備対策	蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取り扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	データなし
目の保護	保護メガネまたはゴーグルを着用する。コンタクトレンズの着用は避ける。
皮膚・身体の保護	ゴム手袋・安全靴・保護衣を着用する。 使用後、食事をとる場合は保護具を脱ぎ、手の洗浄をすること。

9.【物理的及び化学的性質】

状態	液体
色調	無色～青白色透明
臭気	特有の芳香
pH	7～9
溶解度	水に可溶
沸点	100°C
蒸気密度	データなし
融点	データなし
比重	1(15.5°C)
蒸気圧	データなし
その他	-

10.【安定性及び反応性】

安定性	通常の保管状態においては安定である。
避けるべき条件	容器を開放したまま放置するのは避けること。 極端な高温や裸火
混触危険物質	可燃性物質の近くでの保管 酸化性物質
危険有害な分解生成物	有毒な有機ガス・蒸気(アミン、CO _x 、窒素塩化物、塩化水素)

11.【有害性情報】

製品としてのデータはないため、原料からの推定データを記載する。
皮膚刺激性 製品と同程度の濃度の原料水溶液のデータから、
区分3とした。

12.【環境影響情報】

データ無し

13.【廃棄上の注意】

容器を廃棄する際にはよく水で洗うこと。
関連法規並びに地方自治体などの基準に従って適切な処分を行なうこと。

14.【輸送上の注意】

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送	特段の規制なし
海上輸送	特段の規制なし
航空輸送	特段の規制なし

国際規制

国連番号	非該当
国連分類	非該当
品名	非該当
海洋汚染物質	非該当

15.【適用法令】

化学物質管理促進法	非該当
化審法	非該当
船舶安全法	非該当

16.【その他の情報】**記載内容の問い合わせ先**

住所	東京都大田区東糀谷3-11-10
担当部門	マーケティング室
電話番号	03-3743-5705
FAX番号	03-3743-5706

改訂履歴

作成	平成 18年 11月 6日
改訂	平成 23年 12月 14日
最終改訂	平成 28年 3月 24日

注意

- この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
- 注意事項は通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合には、新たな用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
- すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。
- ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申しあげます。